

児美川 孝一郎
（法政大学）

1. いま起きていること

◎不登校（2022 年度） 小・中学生 29 万 9000 人, 高校生 6 万 600 人

◎学校内・外で相談・指導等を受けていない（小・中学生） 38.2%

★コロナ禍は原因ではなくて、もっと以前から進行していたことを加速させた

2. 「学校パッシング」

◎長期欠席（2022 年度） 小・中学生 46 万 600 人, 高校生 12 万 2800 人

◎高校中退（2022 年度） 4 万 3400 人

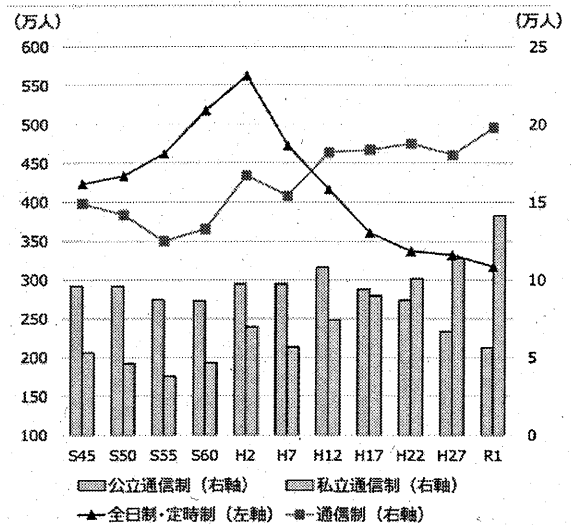
◎通信制高校（2022 年度） 生徒 23 万 8200 人

★学校は、「パッシング」されつつ、それ以上に
「パッシング」されている

3. 地域総がかりで困っている子どもとつながる

★学校は、「特別」な雰囲気の場合 → 文科省
の COCOLO プランでも、学校の風土を「見える
化」して、「安心して学べる場」へ、という提言

★学校は行かなくてはならない場であるという「特別」な存在感は、以前よりなくなっている



◎教育機会確保法（2016 年） 不登校の子どもが教育機会を失わないように、①学校の環境整備+②学校外での学びの支援

★学校を枠外におくのではなく、軽視するのではなく、学校内・外の多様な場で、すべての子どもたちの学びと成長を支える

4. ゴールは「社会的自立」

★支援の重層性が必要 → ③課題対等的支援 < ②予防的支援 < ①発達支持的支援

★学校内の支援センター、学校外の居場所、再登校・・・どのルートを通ろうが、ゴールは子どもたちの社会的自立 → そのための学びと成長の機会（場）